

府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画策定のための調査結果（速報）

1 調査目的

地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画の策定に当たって、市民の近所づきあいや地域での生活・活動状況、日ごろの悩みと相談状況を把握するとともに、府中市の地域福祉及び福祉のまちづくりに関する意見、要望等を把握するために実施する。

2 実施概要

- (1) 調査名 一般市民調査
- (2) 調査方法 郵送による配布及び回収（督促礼状1回送付）
- (3) 調査対象 市内在住の18歳以上の市民 3,000人
- (4) 調査時期 令和元年10月25日から11月11日（調査票締切）
- (5) 有効回収数（回収率） 1,380件（46.0%）

3 調査項目一覧（案）

調査項目	問番号	設問	高齢・障害との 共通設問	新規設問
A 基本属性	F1	性別		
	F2	年齢		
	F3	職業		
	F3-1	従業地		新規
	F4	家族構成(人数)		
	F4-1	同居家族		
	F5	介助・介護が必要な同居の家族		
	F6	居住地		
	F7	居住歴		
	F8	住居形態		
	F9	自治会・町会等の有無		新規
F9-1	自治会・町会等への加入状況		新規	
F9-2	自治会・町会等に加入していない理由		新規	
B 近所づきあい	問1	近所づきあいの必要性	高齢・障害	
	問2	近所づきあいの現状		新規
	問2-1	近所づきあいのない理由		
	問3	今後の近所づきあいについて		新規
C 支え合いに関する意識	問4	近隣で手助けできること・していること(したこと)・してほしいこと	(高齢・障害)	新規
D 地域活動・ボランティア活動	問5	取り組んでいる地域活動・ボランティア活動		
	問5-1	地域活動・ボランティア活動への取組状況		
	問5-2	ボランティア活動に取り組まない理由		
	問6	ボランティア活動等に参加しやすい条件		
	問7	身近な拠点の利用状況		新規
	問8	地域における支え合いをより充実するために必要なこと		新規
E 日ごろの悩みと相談	問9	日常生活の悩みや不安		
	問10	相談できる人の有無	(高齢)・障害	新規
	問10-1	相談相手		
	問11	課題を抱えた世帯の地域の中での把握状況		新規
	問12	(ア)相談窓口の認知度 (イ)相談窓口を利用する上での課題		(イ)新規
	問13	相談したいと思う形態(来所、訪問、電話、SNS等)		新規
	問14	地域包括支援センターの役割や機能の認知度 (高齢追加)		新規
問15	権利擁護センターふちゅうの役割や機能の認知度		新規	
問16	(ア)福祉サービスの情報の入手先 (イ)情報を入手する際に困っていること			
F 福祉のまちづくり	問17	建築物・公共交通機関等・情報のバリアフリー化の状況		
	問18	外出先での手助けの経験		
	問19	心のバリアフリーを進めるために必要なこと		
	問20	福祉のまちづくりで優先的に取り組むこと		
G 災害時の支え合い	問21	災害時の不安や心配ごと		
	問22	普段から災害時に備えていること		新規
	問23	災害に備えて地域で取り組むとよいと思うもの		
	問24	災害時に手助けが必要な方にできること		
H 福祉に対する考え方	問25	障害や制度の認知度		
	問26	認知症のイメージ	高齢	新規
	問27	ソーシャルインクルージョンに関する考え方		
I 府中市の福祉施策	問28	地域の暮らしの満足度		
	問29	市が優先的に取り組むべき福祉施策		
	問30	ご意見・ご要望		

4 調査結果速報（抜粋）

(1) 近所づきあい

近所づきあいの必要性（問1）では、「必要だと思う（40.0%）」と「どちらかといえば必要だと思う（48.5%）」を合計すると、88.5%が《必要だと思う》としている。一方、「どちらかといえば必要だと思わない（5.1%）」と「必要だと思わない（2.1%）」を合計すると7.2%が《必要だと思わない》としている。

近所づきあいの現状（問2）では、「個人的なことを相談し合える人がいる」が9.3%のみであり、「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」が33.5%、「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」が43.5%となっている。また、「あいさつや会話は無いが、顔を見れば近隣の人だと分かる人がいる（5.9%）」と「全く交流はなく、近隣に住む人を知らない（7.0%）」を合計すると、12.9%となっている。その方に近所づきあいを（ほぼ）しない理由（問2-1）をたずねたところ、「普段つきあう機会がないから（70.6%）」が最も多く、「知り合う機会がないから（53.7%）」、「仕事や家事・育児等で忙しく時間がないから（22.0%）」が続いている。

(2) 支え合いに関する意識

近隣で手助けできること（問4（ア））は、「日常の見守りや声かけ（61.0%）」が最も多く、「災害時など非常時の安否確認や避難の手助け（52.3%）」、「話し相手になること（37.0%）」が続いている。

近隣で手助けしてほしいこと（問4（ウ））は、「災害時など非常時の安否確認や避難の手助け（34.5%）」が最も多く、「日常の見守りや声かけ（19.6%）」、「話し相手になること（8.7%）」が続いている。近隣で手助けできることと手助けしてほしいことは、順位は入れ替わるものの上位3位は同じ3項目である。

(3) 地域活動・ボランティア活動

取り組んでいる地域活動・ボランティア活動（問5）は、活動では「地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動（10.4%）」が最も多く、「防災訓練や自主防災組織への参加など災害時に備えるための活動（7.3%）」、「地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動（5.1%）」が続いている。なお、71.1%が「取り組んでいるものはない」と回答している。

「取り組んでいるものはない」と回答した人に、その理由（問5-2）をたずねたところ、「仕事や勉強・家事・育児・介護等で時間がないから（52.4%）」が最も多く、「きっかけがないから（31.8%）」、「活動に関する情報がないから（17.1%）」が続いている。

ボランティア活動等に参加しやすい条件（問6）は、「活動時間や曜日を選べる（33.7%）」、「気軽に参加できる（33.6%）」、「身近なところで活動できる（31.7%）」が30%を超え多くなっている。

(4) 日ごろの悩みと相談

日常生活の悩みや不安（問9）は、「自分や家族の健康のこと（43.6%）」が最も多く、「自分や家族の老後のこと（40.3%）」、「災害時の備えに関すること（25.7%）」、「経済的なこと（24.6%）」が続いている。

悩みや困りごとを相談できる人の有無（問10）は、「いる」が83.3%、「いない」が14.2%となっている。

知っている相談窓口（問12（ア））は、「市役所の相談窓口（65.1%）」のみ半数を超えている。それ以外の全世代に対応している相談窓口である「保健センター（27.5%）」、「民生委員・児童委員（25.0%）」、「市民活動センター「プラッツ」（18.8%）」、「社会福祉協議会（15.5%）」などは10～20%台となっている。

相談窓口を利用する上での課題（問12（イ））は、課題では「どの相談窓口に行けばよいか分からない（28.2%）」が最も多く、「相談しても悩みが解決するか分からない（21.6%）」、「相談窓口が開いている時間に行けない（14.1%）」が続いている。なお、「特になし」は35.8%となっている。

⑤ 福祉のまちづくり

建築物・公共交通機関等・情報のバリアフリー化の状況（問17）について、「整備されている」と「やや整備されている」の合計である《整備されている》の割合が高いのは、『公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター（73.7%）』、『車いすの方、乳幼児を連れた方等誰もが使いやすいトイレ（62.1%）』、『車いすやベビーカーで乗降しやすいノンステップバスやリフト付バス（61.4%）』などである。一方、「整備されていない」と「やや整備されていない」の合計である《整備されていない》の割合が高いのは、『補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストラン等（67.7%）』、『手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設（63.3%）』、『大きな文字、絵、複数の言語を用いた誰もが分かりやすい案内標示（52.7%）』などである。

『（1）～（10）や公園、道路等を含むまち全体のユニバーサルデザイン』では、「整備されている（3.8%）」と「やや整備されている（29.9%）」の合計である《整備されている》が33.7%、「整備されていない（13.0%）」と「やや整備されていない（38.8%）」の合計である《整備されていない》が51.8%となっている。

⑥ 災害時の支え合い

普段から災害時に備えていること（問22）は、「食糧や日用品の備蓄（60.1%）」が最も多く、「防災マップやハザードマップ等の確認（37.9%）」、「家族で所在、安否確認方法を定める（32.3%）」、「家具の転倒防止対策（31.4%）」までが30%を超えている。

災害に備えて地域で取り組むとよいと思うもの（問23）は、「物資の備蓄（57.8%）」と「地域住民同士の声かけや安否確認（57.7%）」が50%台後半で多くっており、「地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成（43.7%）」、「避難時に支援が必要な人を把握しておくこと（39.3%）」が続いている。

災害時に手助けが必要な方にできること（問24）は、「避難所での支援活動（59.4%）」が最も多く、「要援護者（高齢者、障害等のある方、乳幼児・子ども、妊産婦等）の安否確認（31.6%）」、「要援護者（高齢者、障害等のある方、乳幼児・子ども、妊産婦等）の避難誘導（29.4%）」が続いている。

⑦ 府中市の福祉施策

市が優先的に取り組むべき福祉施策（問29）は、「日ごろから防災・防犯を意識した地域づくりの推進（55.9%）」が最も多く、「相談支援体制や情報提供体制の充実（40.7%）」、「健康づくり・介護予防の推進（39.8%）」が続いている。

府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画策定のための調査

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市は、平成27年度を初年度とする「地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画」において「みんなでつくる、『共に生きるまち』」を理念とし、様々な地域福祉及び福祉のまちづくりに係る取組を進めています。

このたび、令和3年度から令和8年度までの計画を新たに策定するに当たり、市民の皆様の地域福祉及び福祉のまちづくりに対するご意見を伺い、新しい計画策定の参考とすることを目的として「府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画策定のための調査」を実施することとしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年10月 府中市

回答に当たってのお願い

1. **封筒のあて名ご本人**がご回答ください。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。
2. 何らかの理由でご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族や周りの方が代わりに記入してください。
3. 回答は、濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
4. 回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。○の数は、それぞれの設問の指示に従ってください。また、「3つまで○」など、○の数が指定されている設問は、あなたの考えに近いものや優先したいものを選んでご回答ください。
5. の場合は回答内容等を記入してください。
6. 「その他」に○印をつけた場合は、[]内に内容を具体的に記入してください。
7. 調査票、返信用封筒に住所、氏名を記入する必要はありません。

記入を終えた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

11月11日(月)までに郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

記入に当たって不明な点がございましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部地域福祉推進課

TEL 042-335-4161

FAX 042-335-7802

E-mail: tiikifuku01@city.fuchu.tokyo.jp

対象者の抽出方法・個人情報の取扱い

この調査は、令和元年10月1日時点において、府中市にお住まいの18歳以上の方から無作為に抽出した3,000の方を対象としています。

ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、個人が特定されることはありません。また、本調査の目的以外に使用することはありません。

現行の府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画について

現行の地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画は、中央図書館や市のホームページでご覧いただけます。

府中市ホームページ (<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>)

行政情報のタブ ⇒ 施策・計画・審議会・協議会 ⇒

施策・計画 ⇒ 健康・福祉分野 ⇒ 府中市福祉計画 ⇒

府中市福祉計画 みんなでつくる、みんなの福祉 ⇒

府中市福祉計画 地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画

(第2編 地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画)

はじめに、あなたご自身のことをおたずねします

F 1 あなたの性別は次のうちどれですか。(1つに〇)

* 戸籍上の区別とは別にご自身の主観によりご記入ください。

(N=1,380)

1. 男性	44.1%	2. 女性	54.2%	無回答	1.7%
-------	-------	-------	-------	-----	------

F 2 あなたの年齢は次のうちどれですか。(1つに〇)

* 令和元年10月1日現在の年齢でお答えください。

(N=1,380)

1. 18~19歳	0.8%	5. 35~39歳	7.2%	9. 55~59歳	10.2%	13. 75~79歳	8.1%
2. 20~24歳	2.9%	6. 40~44歳	9.2%	10. 60~64歳	8.3%	14. 80~84歳	3.8%
3. 25~29歳	3.8%	7. 45~49歳	11.1%	11. 65~69歳	8.0%	15. 85~89歳	1.6%
4. 30~34歳	5.3%	8. 50~54歳	9.9%	12. 70~74歳	9.6%	16. 90歳以上	0.0%
						無回答	0.2%

F 3 あなたのご職業は次のうちどれですか。(1つに〇)

(N=1,380)

F 3-1 ← へ進む	1. 自営業(家族従業の場合含む)・自由業	7.6%	4. 学生	→F 3-1 へ進む	2.4%
	2. 正規の社員・職員・役員など	35.5%	5. 家事専業		17.0%
	3. 非正規の社員・職員(契約社員・派遣・パート・アルバイト等)	19.4%	6. 無職	7. その他〔具体的に：〕	→F 4 へ進む
					16.1%
					1.4%
					無回答
					0.6%

F 3-1 F 3で「1. 自営業(家族従業の場合含む)・自由業」～「4. 学生」と答えた方におたずねします。

あなたの主な通勤、通学先はどちらですか。(1つに〇)

(n=897)

1. 府中市内	28.5%	2. 府中市外	48.7%
3. 定まっていない	2.2%	無回答	20.6%

F 4 世帯についておたずねします。世帯の人数はあなたを含めて何人ですか。(1つに〇)

* 2世帯住宅は同居としてお答えください。

* 配偶者の親族を含めてお答えください。

(N=1,380)

1. 1人	→F 5へ進む	14.1%	4. 4人		20.1%
2. 2人	} →F 4-1 へ進む	32.2%	5. 5人	} →F 4-1 へ進む	5.6%
3. 3人		23.3%	6. 6人以上		2.5%
			無回答		2.2%

F 4-1 F 4で「2. 2人」～「6. 6人以上」と答えた方におたずねします。

あなたと同居している方はどなたですか。(いくつでも〇)

(n=1,156)

1. 配偶者(夫又は妻)	74.3%	4. 祖父、祖母	1.5%
2. 子	50.6%	5. その他〔具体的に：〕	7.9%
3. 父、母	16.3%	無回答	3.5%

F 5 現在、あなた自身、もしくは同居している方の中に、次のような方はいますか。
(いくつでも○)

(N=1,380)

- | | | | |
|-------------------|-------|---------------------------|-------|
| 1. 乳児（1歳未満） | 2.6% | 6. 身体・知的・精神等の障害のある方及び難病など | |
| 2. 乳児を除く小学校入学前の幼児 | 9.3% | により、心や身体のはたらきに障害のある方 | 6.7% |
| 3. 小学生 | 12.2% | 7. 介護・介助を必要とする方 | 4.7% |
| 4. 中学生・高校生 | 10.4% | 8. いずれもない | 37.0% |
| 5. 65歳以上の方 | 30.1% | 無回答 | 3.7% |

F 6 あなたはどちらにお住まいですか。 内に記入してください。

町 丁目

(N=1,380)

中央文化センター	17.9%	是政文化センター	7.8%
白糸台文化センター	10.9%	紅葉丘文化センター	8.4%
西府文化センター	8.6%	押立文化センター	4.3%
武蔵台文化センター	6.2%	四谷文化センター	4.9%
新町文化センター	9.9%	片町文化センター	9.5%
住吉文化センター	10.2%	無回答	1.4%

F 7 あなたは府中市にお住まいになってから何年になりますか。(1つに○)

(N=1,380)

- | | | | |
|---------------|------|----------------|-------|
| 1. 1年未満 | 3.5% | 5. 10年以上 20年未満 | 21.7% |
| 2. 1年以上 3年未満 | 5.2% | 6. 20年以上 30年未満 | 17.1% |
| 3. 3年以上 5年未満 | 6.4% | 7. 30年以上 | 36.8% |
| 4. 5年以上 10年未満 | 8.9% | 無回答 | 0.4% |

F 8 あなたのお住まいは、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

(N=1,380)

- | | | | |
|-----------------|-------|-------------------------------------|------|
| 1. 持ち家の一戸建て | 47.0% | 5. 公的賃貸住宅（市営住宅、市民住宅、都営住宅など） | 4.1% |
| 2. 持ち家の集合住宅 | 24.9% | 6. 社宅・公務員住宅など | 2.1% |
| 3. 民間賃貸住宅（一戸建て） | 0.9% | 7. その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕 | 0.9% |
| 4. 民間賃貸住宅（集合住宅） | 19.3% | 無回答 | 0.8% |

F 9 あなたのお住まいの地域には、自治会・町会等がありますか。(1つに○)

(N=1,380)

- | | | | | | | | |
|------------|-------|-------|------|----------|-------|-----|------|
| 1. ある | 76.9% | 2. ない | 3.5% | 3. 分からない | 19.2% | 無回答 | 0.4% |
| → F 9-1へ進む | | 問1へ進む | | | | | |

F9-1 F9で「1. ある」と答えた方におたずねします。あなたは、自治会・町会等に参加していますか。(1つに〇)

(n=1,062)

1. 加入している	→問1へ進む	74.4%
2. 加入していない	→F9-2へ進む	20.3%
3. 分からない	→問1へ進む	5.0%
無回答		0.3%

F9-2 F9で「2. 加入していない」と答えた方におたずねします。自治会・町会等に参加していない主な理由は何ですか。(3つまで〇)

(n=216)

1. 人間関係などの関わりがわずらわしいから	18.1%
2. 地域のイベントなどの活動が大変そうだから	22.2%
3. 仕事や家事・育児・介護等で時間がないから	25.5%
4. 地域活動に興味がないから	4.2%
5. 加入することのメリットを感じないから	19.0%
6. どのような活動をしているのか分からないから	15.3%
7. 加入するきっかけがないから	35.6%
8. 加入方法が分からないから	16.2%
9. その他〔具体的に：	〕 21.8%
無回答	2.3%

日ごろのご近所づきあいについておたずねします

問1 あなたは近所づきあいを必要だと思えますか。(1つに〇)

(N=1,380)

- | | | |
|----|------------------|-------|
| 1. | 必要だと思う | 40.0% |
| 2. | どちらかといえば必要だと思う | 48.5% |
| 3. | どちらかといえば必要だと思わない | 5.1% |
| 4. | 必要だと思わない | 2.1% |
| 5. | 分からない | 3.6% |
| | 無回答 | 0.7% |

問2 あなたは、近隣に住む人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに〇)

(N=1,380)

- | | | | |
|----|--------------------------------|---|-------|
| 1. | 個人的なことを相談し合える人がいる | | 9.3% |
| 2. | さしさわりのないことなら、話せる人がいる | } | 33.5% |
| 3. | 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる | | 43.5% |
| 4. | あいさつや会話は無いが、顔を見れば近隣の人だと分かる人がいる | } | 5.9% |
| 5. | 全く交流はなく、近隣に住む人を知らない | | 7.0% |
| | 無回答 | | 0.8% |

問2-1 問2で「4. あいさつや会話は無いが、顔を見れば近隣の人だと分かる人がいる」、「5. 全く交流はなく、近隣に住む人を知らない」と答えた方におたずねします。近所づきあいを(ほぼ)しない主な理由は何ですか。

(3つまで〇)

(n=177)

- | | | | |
|----|----------------------|---|-------|
| 1. | 普段つきあう機会がないから | | 70.6% |
| 2. | 仕事や家事・育児等で忙しく時間がないから | | 22.0% |
| 3. | 同世代の人が近くにいないから | | 11.3% |
| 4. | 引っ越してきて間もないから | | 12.4% |
| 5. | 気の合う人・話の合う人が近くにいないから | | 5.1% |
| 6. | あまり関わりを持ちたくないから | | 17.5% |
| 7. | 知り合う機会がないから | | 53.7% |
| 8. | その他〔具体的に： | 〕 | 3.4% |
| | 無回答 | | 2.8% |

問3 あなたは、今後の近所づきあいについて、どのようにお考えですか。(1つに〇)

(N=1,380)

- | | | | |
|----|----------------|--|-------|
| 1. | 今よりも積極的につきあいたい | | 10.7% |
| 2. | 現状程度のつきあいでよい | | 81.4% |
| 3. | 今よりもつきあいを減らしたい | | 0.7% |
| 4. | 今後もつきあいはしたくない | | 1.9% |
| 5. | 分からない | | 4.3% |
| | 無回答 | | 1.0% |

地域における支え合いについておたずねします

- 問4 (ア) あなたは、近隣に高齢者や障害等のある方、子育てなどで困っている世帯があった場合、次のような手助けをすることができますか。(手助けできること)
- (イ) あなたは、次のような手助けをしている又はしたことがありますか。(手助けしている又はしたこと)
- (ウ) あなたは困っているときに、近隣の人に次のような手助けをしてほしいと思いますか。(手助けしてほしいこと)
- (1)～(10)の(ア)手助けできること、(イ)手助けしている又はしたこと、(ウ)手助けしてほしいことについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

	(ア)	(イ)	(ウ)
	手助けできること	手助けしている 又はしたこと	手助けしてほしい こと
(N=1,380)			
(1) 日常の見守りや声かけ	61.0%	19.1%	19.6%
(2) 話し相手になること	37.0%	14.9%	8.7%
(3) 悩みごと、心配ごとの相談にのること	20.9%	6.5%	6.6%
(4) ちょっとした家事(買い物、ごみ出しなど)	23.8%	3.8%	5.8%
(5) 掃除、洗濯、食事の用意の手伝い	7.5%	2.0%	3.5%
(6) 短時間の子どもの預かり	12.9%	4.7%	6.4%
(7) 保育園・幼稚園などの送迎	9.3%	3.0%	3.8%
(8) 外出や通院時の付き添い	9.5%	2.2%	3.0%
(9) 病気のとときの看病	4.4%	1.0%	3.8%
(10) 災害時など非常時の安否確認や避難の手助け	52.3%	5.0%	34.5%
無回答	19.6%	70.9%	53.0%

地域活動やボランティア活動についておたずねします

問5 あなたは、次のような地域での活動やボランティアに取り組んでいますか。
(いくつでも○)

(N=1,380)

1. 子育て世帯や児童、青少年を支援する活動		3.5%
2. 高齢者を支援する活動		2.3%
3. 障害等のある方を支援する活動		1.5%
4. 交通安全や防犯など地域の安全を守る活動		3.6%
5. 非行や犯罪をした人を支援する活動		0.2%
6. 地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動	}	5.1%
7. 国際交流に関する活動		0.9%
8. 防災訓練や自主防災組織への参加など災害時に備えるための活動		7.3%
9. 介護予防運動など健康・保健のための活動		2.1%
10. 地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動		10.4%
11. 自分の技術や経験、学んだことを地域にいかす活動		3.3%
12. 取り組んでいるものはない →問5-2へ進む		71.1%
13. その他〔具体的に： 〕 →問5-1へ進む		1.3%
無回答		6.6%

問5-1 問5で「1. 子育て世帯や児童、青少年を支援する活動」～「11. 自分の技術や経験、学んだことを地域にいかす活動」、「13. その他」と答え
た方におたずねします。あなたは、地域活動・ボランティア活動にどの程
度取り組んでいますか。(1つに○)

(n=308)

1. 週3回程度取り組んでいる		5.2%
2. 週1回程度取り組んでいる	}	10.4%
3. 月1、2回程度取り組んでいる		20.8%
4. 年1、2回程度取り組んでいる		40.2%
無回答		23.4%

問5-2 問5で「12. 取り組んでいるものはない」と答えられた方におたずねします。
活動していない主な理由は何ですか。(3つまで○)

(n=981)

1. 興味のある活動がないから	5.4%	7. 体調がすぐれないから	11.1%
2. 活動に関する情報がないから	17.1%	8. 一緒に活動する仲間がないから	9.1%
3. 経済的負担が大きいから	3.1%	9. 人間関係等がわずらわしいから	9.4%
4. メリットを感じないから	2.0%	10. 参加方法が分からないから	16.0%
5. きっかけがないから	31.8%	11. 特になし	9.7%
6. 仕事や勉強・家事・育児・		12. その他〔具体的に： 〕	4.7%
介護等で時間がないから	52.4%	無回答	0.4%

問6 あなたは、ボランティア活動について、どのような条件であれば、活動・参加したいと思いますか。(3つまで〇)
(N=1,380)

1. 活動情報の提供がある	15.8%	8. 身体的な負担が少ない	18.2%
2. 友人等と一緒に参加できる	9.6%	9. 活動経費が支給される	10.2%
3. 身近なところで活動できる	31.7%	10. 謝礼が出る	8.3%
4. 活動時間や曜日を選べる	33.7%	11. 家事・育児・介護への支援がある	3.3%
5. 気軽に参加できる	33.6%	12. 就労先の理解や協力が得られる	8.1%
6. 適切な指導者やリーダーがいる	11.2%	13. 特にな	16.7%
7. 特技や知識がいかせる	12.0%	14. その他〔具体的に： 〕	2.9%
		無回答	5.6%

問7 あなたが活動の拠点として利用している施設はどれですか。(いくつでも〇)
(N=1,380)

1. 文化センター	15.8%	8. 図書館	14.9%
2. 市民会館「ルミエール府中」	6.7%	9. 小学校・中学校	6.4%
3. 市民活動センター「プラッツ」	3.9%	10. 民間の施設〔具体的に： 〕	1.7%
4. ふれあい会館	0.9%	11. 個人宅	4.6%
5. 生涯学習センター	8.4%	12. 特にな	48.1%
6. 教育センター	0.4%	13. その他〔具体的に： 〕	5.6%
7. 国際交流サロン	0.3%	無回答	9.6%

問8 あなたが思う、地域における支え合いをより充実するため必要なことはどれですか。(3つまで〇)
(N=1,380)

1. 地域に関心を持ち、日ごろから近隣の人と関わりを持つよう心がけること	47.6%
2. 地域のお祭りや防災訓練など、地域で行われる行事等に参加をすること	30.7%
3. 自治会・町会等、シニアクラブ、わがまち支えあい協議会などによる支え合いの活動に参加すること	13.6%
4. 地域住民同士の見守りや声かけを行うこと	34.1%
5. 地域における交流活動を活発に行うこと	9.7%
6. 地域の人が気軽に集まる場所や、地域活動の拠点になる場所があること	29.9%
7. 特にな	14.9%
8. その他〔具体的に： 〕	3.0%
無回答	4.4%

日ごろのお悩みと相談についておたずねします

問9 あなたは、あるいはご家族は現在、日常生活においてどのような悩みや不安を感じていますか。(3つまで)
(N=1,380)

1. 自分や家族の健康のこと	43.6%	8. 住まいに関すること	8.7%
2. 自分や家族の老後のこと	40.3%	9. 地域の治安のこと	7.0%
3. 生きがいに関すること	7.1%	10. 災害時の備えに関すること	25.7%
4. 子育てに関すること	13.6%	11. 差別や偏見、人権侵害に関すること	1.4%
5. 介護に関すること	12.3%	12. 特になし	15.4%
6. 経済的なこと	24.6%	13. その他〔具体的に：	〕 1.4%
7. 近隣との関係	2.8%	無回答	2.9%

問10 あなたは、悩みや困りごとを相談できる人がいますか。(1つに)
(N=1,380)

1. いる →問10-1へ進む 83.3% 2. いない →問11へ進む 14.2% 無回答 2.5%

問10-1 問10で「1. いる」と答えた方におたずねします。
どのような人・機関に相談をしていますか。(いくつでも)
(n=1,150)

1. 家族や親族	86.8%	10. 子ども家庭支援センター	1.0%
2. 友人、知人	71.5%	11. 社会福祉協議会	0.6%
3. 近隣の人、自治会・町会等の人	4.4%	12. 地域福祉コーディネーター	0.3%
4. 民生委員・児童委員	0.6%	13. ボランティア団体・NPO法人	0.3%
5. 同じ悩みや問題を抱える人	1.7%	14. 保育所、幼稚園、学校の先生	3.0%
6. 行政の相談窓口*	1.8%	15. ケアマネジャーや福祉施設の関係者	3.8%
7. 地域包括支援センター	3.0%	16. かかりつけ医や保健師等医療関係者	8.9%
8. 地域生活支援センター	0.4%	17. その他〔具体的に：	〕 2.1%
9. 保健センター	0.8%	無回答	0.1%

* 行政の相談窓口は、市役所のほか、児童相談所、都の保健所等の窓口を示します。

問11 あなたは、地域の中で次のようなことで困っている世帯を見かけたり、相談を受けたことがありますか。(いくつでも)
(N=1,380)

1. 子育てと親の介護に、同時に直面して困っている世帯	3.2%
2. 高齢者の親と、就労していない独身の中高年の子どもで構成されている世帯	3.3%
3. 高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯	5.0%
4. ごみが処分されていない世帯	2.9%
5. ひきこもり状態の人が、適切な支援に結び付いていない世帯	2.2%
6. 家族や地域との関わりがなく、社会的に孤立した世帯	2.3%
7. 特に見かけたことはない	73.7%
8. その他〔具体的に：	〕 2.5%
無回答	10.9%

問12 府中市に設置されている、福祉に関する相談窓口についておたずねします。

(ア) あなたがご存じの相談窓口はどれですか。(いくつでも○)

(N=1,380)

1. 市役所の相談窓口	65.1%	8. 子ども家庭支援センター「たち」	「しらとり」	26.4%
2. 民生委員・児童委員	25.0%	9. 地域子育て支援センター「はぐ」		2.4%
3. 地域包括支援センター	26.2%	10. 男女共同参画センター「フューラル」		7.2%
4. 権利擁護センターふちゅう	2.3%	11. 社会福祉協議会		15.5%
5. 子ども発達支援センター「あゆの子」	6.2%	12. 地域福祉コーディネーター		1.9%
(心身障害者福祉センター内)	6.2%	13. 市民活動センター「プラッツ」		18.8%
6. 保健センター	27.5%	14. 知っているものはない		14.6%
7. 地域生活支援センター「み～な」		無回答		2.4%
「あけぼの」「プラザ」「ふらっと」	7.5%			

(イ) 上記の相談窓口を利用するに当たっての主な課題はどれですか。(3つまで○)

(N=1,380)

1. どの相談窓口に行けばよいか分からない	28.2%	7. 相談員の言動によって不快な思いを するかもしれないと不安	7.6%
2. 相談窓口が遠い	5.3%	8. 人に打ち明けることに抵抗がある	10.3%
3. 相談窓口が開いている時間に行けない	14.1%	9. 相談しても悩みが解決するか分からない	21.6%
4. 相談の予約をすることが面倒	7.2%	10. 特にない	35.8%
5. 個人情報漏れがないか不安	9.4%	11. その他〔具体的に：	1.8%
6. どのような人が相談員をしているか不安	12.8%	無回答	5.3%

問13 あなたは、公的機関に相談する際に、どのような形態であれば相談したいと思いますか。(3つまで○)

(N=1,380)

1. 来所による相談	40.7%	5. ライン等の無料通話アプリによる相談	15.9%
2. 相談員の訪問による相談	11.7%	6. 投書による相談	3.0%
3. 電話相談	30.1%	7. 特にない	24.1%
4. メールによる相談	22.5%	8. その他〔具体的に：	1.5%
		無回答	3.0%

問14 府中市には地域包括支援センターが11か所ありますが、あなたは、次の地域包括支援センターの役割や機能をご存じですか。(いくつでも○)

(N=1,380)

1. 高齢者の総合的な相談を行っている	34.3%
2. 介護予防の支援や相談を行っている	32.0%
3. 認知症に関する生活相談や財産管理の相談を行っている	15.0%
4. 成年後見制度の利用相談を行っている	8.0%
5. 高齢者虐待の早期発見や対応をしている	5.7%
6. 悪質な訪問販売・電話勧誘などの被害相談を行っている	8.0%
7. 地域のネットワークを活用し、高齢者の実態把握を行っている	9.9%
8. まったく知らなかった	54.6%
無回答	2.9%

問15 あなたは、次の権利擁護センターふちゅうの役割や機能をご存じですか。

(いくつでも○)

(N=1,380)

- | | |
|---|-------|
| 1. 福祉サービスの利用や老いじたくに関する相談を受け、財産管理の支援を行っている | 8.0% |
| 2. 相続や権利侵害などの法律相談を行っている | 7.8% |
| 3. 成年後見制度の利用に関する相談と広報を行っている | 6.7% |
| 4. 成年後見人等の情報交換の場を提供している | 2.9% |
| 5. 権利擁護や支え合いの担い手を広げるために市民向けの講座を行っている | 5.3% |
| 6. まったく知らなかった | 82.0% |
| 無回答 | 3.8% |

問16 保育や子育て支援、高齢者や障害等のある方への福祉サービス、健康づくり、ボランティア活動等、府中市の福祉に関する情報についておたずねします。

(ア) あなたは、府中市の福祉に関する情報を、どこから入手していますか。(いくつでも○)

(N=1,380)

- | | |
|--|--------|
| 1. 家族や知人から | 22.4% |
| 2. 行政等の相談窓口(市役所、行政事務所、社会福祉協議会、民生委員・児童委員など) | 12.0% |
| 3. 保育所、学校、医療機関、店舗など日ごろ通っている施設等の職員や配布物から | 11.4% |
| 4. 広報ふちゅうや市のパンフレットなどの印刷物 | 58.1% |
| 5. 町内の回覧板 | 24.1% |
| 6. テレビ(ケーブルテレビを含む)、ラジオ、新聞、雑誌等 | 4.1% |
| 7. 市のホームページ等のインターネットサイト | 19.0% |
| 8. フェイスブック・ツイッター等のSNS* | 2.7% |
| 9. 情報を得たことはない | 16.3% |
| 10. その他〔具体的に： | 〕 1.2% |
| 無回答 | 1.6% |

* SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)

ネットワーク上のコミュニケーション機能を持ったサービス全般を指す。

(イ) 情報入手する際、特に困っていることはありますか。(3つまで○)

(N=1,380)

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1. ほしい情報が少ない | 12.0% |
| 2. 情報量が多すぎる(必要な情報を選びきれない) | 5.1% |
| 3. 情報の内容が分かりにくい | 16.6% |
| 4. 情報入手するための手段が少ない | 10.0% |
| 5. どこで又はどうすれば情報が入手できるのか分からない | 18.9% |
| 6. 視覚障害者や弱視者のための情報提供が不十分 | 0.4% |
| 7. 聴覚障害者のための情報提供が不十分 | 0.8% |
| 8. 外国人のための情報提供が不十分 | 1.2% |
| 9. 困ったことはない | 50.9% |
| 10. その他〔具体的に： | 〕 2.9% |
| 無回答 | 5.3% |

福祉のまちづくり*についておたずねします

問17 現在、府中市の建築物や公共交通機関、情報案内、公園や道路等について、障害等のある方や妊婦、乳幼児を連れた方、高齢者等が利用しやすいように整備されていると思いますか。(1)～(11)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

		整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	整備されていない	整備の必要を感じない	無回答
(N=1,380)							
建築物	(1) 車いすの方や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げる)	10.7%	47.8%	24.6%	7.3%	1.3%	8.3%
	(2) 公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター	21.1%	52.6%	14.3%	2.5%	1.1%	8.4%
	(3) 車いすの方、乳幼児を連れた方等誰もが使いやすいトイレ	13.7%	48.4%	22.7%	4.6%	1.1%	9.5%
道路・交通機関等	(4) 歩きやすいように、障害物(商品や看板、放置自転車、電柱等)が取り除かれた歩道や道路	6.4%	35.0%	34.0%	15.3%	1.2%	8.1%
	(5) 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	10.1%	45.5%	28.0%	5.9%	1.3%	9.2%
	(6) 車いすやベビーカーで乗降しやすいノンステップバスやリフト付バス	13.1%	48.3%	21.3%	6.3%	1.1%	9.9%
	(7) 障害等のある方用の駐車場	11.2%	45.0%	26.3%	5.7%	1.4%	10.4%
情報案内等	(8) 大きな文字、絵、複数の言語を用いた誰もが分かりやすい案内標示	4.4%	30.0%	42.2%	10.5%	1.7%	11.2%
	(9) 手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設	1.7%	16.1%	46.0%	17.3%	2.8%	16.1%
	(10) 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストラン等	1.5%	13.0%	43.9%	23.8%	2.9%	14.9%
全体	(11) (1)～(10)や公園、道路等を含むまち全体のユニバーサルデザイン*	3.8%	29.9%	38.8%	13.0%	2.2%	12.3%

*福祉のまちづくり

高齢者、障害者、子ども、外国人などを含めたすべての人がありのままに、自らの意思で暮らし、社会参加をし、自己実現を図ることができるような社会の実現に向け、ユニバーサルデザインの理念に立ったまちづくりを進めること。

*ユニバーサルデザイン

年齢、性別、国籍、個人の能力等にかかわらず、できるだけ多くの人々が利用できるよう生活環境その他の環境を作り上げること。

問18 あなたは、高齢者や障害等のある方、妊婦、乳幼児を連れた方などに、次のようなお手伝いをしたことがありますか。(いくつでも○)

(N=1,380)

1. 乗り物で席を譲った	82.2%
2. 荷物を持った	22.5%
3. 階段の上り下りや道路の横断、電車・バスの乗り降りに手を貸した	28.1%
4. 車いすやベビーカーを押したり、持ち上げたりするのを手伝った	30.8%
5. 道を教えた	45.7%
6. 扉を開けた	50.2%
7. 話しかけたり、声をかけたりした	24.2%
8. 車で送り迎えをする等、外出の手助けをした	4.6%
9. 何もしたことがない	7.8%
10. その他〔具体的に： 無回答	1.0% 1.5%

問19 市民一人ひとりの理解と協力、いわゆる「心のバリアフリー」を実現していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)

(N=1,380)

1. 広報紙、テレビ等を通じて、多くの方が福祉に関する情報にふれる機会が増えること	43.8%
2. 地域の行事等により、市民が高齢者や障害等のある方と直接交流する機会が増えること	30.2%
3. 高齢者や障害等のある方などに対するボランティア活動に多くの方が参加するようになること	24.8%
4. 学校で高齢者や障害等のある方とともに学習するなど、子どものころから自然に接する環境で過ごすこと	59.8%
5. 車いす体験をしたり、手話や介助方法等を覚えることのできる体験が活発に行われるようになること	30.4%
6. その他〔具体的に： 無回答	4.3% 5.2%

問20 福祉のまちづくりを実現するために、優先的に取り組む必要があると思うことは何ですか。(3つまで○)

(N=1,380)

1. 高齢者、障害等のある方、乳幼児を連れた方が歩きやすい道路の整備	55.0%
2. 公共施設や公共交通機関のバリアフリー化・ユニバーサルデザインの推進	35.8%
3. 分かりやすく利用しやすい案内標示の設置等、情報提供の充実	29.6%
4. 憩いの場である公園・河川の整備	19.9%
5. 高齢者や障害等のある方が住みやすい住宅の整備	26.6%
6. 交通安全や防犯等、安全、安心に暮らすための体制整備	40.8%
7. 福祉のまちづくりに対する理解の促進	19.4%
8. 分からない	5.1%
9. その他〔具体的に： 無回答	4.0% 1.6%

災害時の支え合いについておたずねします

問21 災害時、あなたが、特に不安や心配なことは何ですか。(3つまで〇)

(N=1,380)

1. 家族の所在、安否確認について	57.8%	8. 避難所生活でのプライバシー	29.1%
2. 家具の転倒	9.3%	9. 食糧や日用品などの生活物資の入手	40.6%
3. 家屋や外壁の強度	15.3%	10. 医療機関、診療、薬の入手	17.5%
4. 自身や家族の歩行に不安があること	6.7%	11. 精神的なストレス	22.1%
5. 避難所がはっきり分からないこと	13.0%	12. 特に不安や心配ことはない	1.7%
6. ペット(犬・猫など)の避難のこと	12.7%	13. その他〔具体的に： 〕	3.1%
7. 正確な情報の入手	36.4%	無回答	1.3%

問22 あなたが普段から災害時に備えていることはありますか。(いくつでも〇)

(N=1,380)

1. 家族で所在、安否確認方法を定める	32.3%	7. 食糧や日用品の備蓄	60.1%
2. 家具の転倒防止対策	31.4%	8. 災害時の情報入手手段の確認	14.2%
3. 家屋や外壁の耐震補強	6.4%	9. 災害時要援護者名簿*への登録	1.3%
4. 防災マップやハザードマップ等の確認	37.9%	10. 救急医療情報キット*の申込み	2.4%
5. 避難経路や避難場所の確認	24.2%	11. 特にない	14.0%
6. 地域の防災訓練への参加	8.5%	12. その他〔具体的に： 〕	0.9%
		無回答	2.1%

*災害時要援護者名簿

高齢者や障害のある方などで、災害発生時の状況把握や避難に支援を必要とする方(要援護者)を、地域の支え合いにより支援するために作成している名簿のこと。

名簿は、自治会や民生委員など地域の支援者に提供され、地域で支え合いの仕組みをつくり、災害発生時に地域の支援者の方、又はグループが要援護者の安否確認や避難を支援するために活用される。

*救急医療情報キット

救急時、災害時に必要な、「かかりつけ医療機関」、「服薬内容」、「持病」、「緊急連絡先」などの情報を記入した専用の用紙等を入れたキット(筒)のこと。

冷蔵庫の中で保管し、災害時に避難が必要な場合は支援者が冷蔵庫から取り出し、避難所に持って行く。また、救急時(119番出動)には、本人が持病などを説明することができない状態にある場合に、救急隊が冷蔵庫より取り出し、記載された情報を救急活動に役立てる。

問23 あなたが、災害に備えて地域で取り組むとよいと思うものはどのようなことですか。(いくつでも○)

(N=1,380)

1. 地域住民同士の声かけや安否確認	57.7%
2. 防災訓練の実施	30.0%
3. 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成	43.7%
4. 地域内外の団体等との日ごろからの交流	12.7%
5. 物資の備蓄	57.8%
6. 商店や企業と災害時の協力体制をつくること	24.3%
7. 避難時に支援が必要な人を把握しておくこと	39.3%
8. 分からない	5.7%
9. その他〔具体的に： 無回答	〕 2.0% 2.0%

問24 災害時、地域で手助けが必要な方に、あなたができることは、どのようなことですか。(いくつでも○)

(N=1,380)

1. 避難所での支援活動	59.4%
2. 要援護者（高齢者、障害等のある方、乳幼児・子ども、妊産婦等）の安否確認	31.6%
3. 要援護者（高齢者、障害等のある方、乳幼児・子ども、妊産婦等）の避難誘導	29.4%
4. けが人の手当て	10.5%
5. 水や食糧の提供	14.3%
6. 協力することはむずかしい・できない	17.0%
7. その他〔具体的に： 無回答	〕 4.4% 3.3%

福祉に対する考え方についておたずねします

問25 あなたは、次のことをご存じですか。(1)～(6)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(N=1,380)	内容まで 知っている	言葉 を聞いた ことがある	知らない	無 回 答
(1) 発達障害・学習障害*	52.0%	38.6%	6.6%	2.8%
(2) ヘルプマーク*	31.3%	30.0%	35.4%	3.3%
(3) 若年性認知症*	46.9%	41.7%	8.6%	2.8%
(4) 障害者差別解消法*	10.6%	31.2%	54.2%	4.0%
(5) 再犯防止推進法*	6.5%	40.6%	48.8%	4.1%
(6) 成年後見制度*	33.3%	41.7%	21.7%	3.3%

*発達障害・学習障害

発達障害は、脳の機能障害があり、それによって生活や学習に困難さを持つ障害のこと。
学習障害は、読み書き能力や計算力など算数機能に関する特異的な発達障害のひとつ。

*ヘルプマーク

内部障害や難病の方などへの配慮や手助けが必要なことを知らせるためのマークのこと。



*若年性認知症

18歳から64歳までに発症した認知症性疾患（アルツハイマー病、脳血管型、前頭側頭型、レビー小体型など）の総称のこと。

*障害者差別解消法

平成28年4月1日から施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」のこと。国の行政機関や地方公共団体と民間事業者に対して、障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止や障害者への合理的配慮の提供が規定されている。

*再犯防止推進法

平成28年12月14日に施行された「再犯の防止等の推進に関する法律」のこと。犯罪をした者等の円滑な社会復帰を促進することで、犯罪をした者等が再び犯罪をすることを防ぎ、安全で安心して暮らせる社会を実現することを目的とする。

*成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度のこと。

問26 あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。最も近いと思うものをお答えください。(1つに〇)

(N=1,380)

- | | |
|---|-------|
| 1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる | 6.2% |
| 2. 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける | 36.6% |
| 3. 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる | 38.6% |
| 4. 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる | 4.0% |
| 5. 認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう | 9.0% |
| 無回答 | 5.6% |

問27 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。(1)～(8)について、あなたの考えに最も近いものに1つずつ〇をつけてください。

(N=1,380)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	全く思わない	無回答
(1) 障害等のある方とない方が、地域社会の中でともに生きるのが当然の姿である	51.5%	32.4%	11.7%	1.8%	0.3%	2.3%
(2) 経済的困窮の問題は、本人だけでなく、社会全体の問題である	29.0%	32.9%	28.7%	5.7%	0.9%	2.8%
(3) 生活保護受給者に対する偏見や差別がある	12.2%	25.1%	36.2%	18.8%	4.9%	2.8%
(4) ひきこもりやニートは、本人や家族だけでなく、社会全体の問題である	19.8%	28.3%	34.5%	11.1%	3.4%	2.9%
(5) 児童や高齢者、障害等のある方への虐待を防ぐために、地域でのつながりが重要である	41.8%	39.5%	12.9%	2.2%	0.8%	2.8%
(6) DV*被害を防ぎ、被害者を支援するために、地域でのつながりが重要である	31.6%	38.9%	20.4%	4.5%	0.9%	3.7%
(7) ひとり親家庭の自立を支援するために、地域でのつながりが重要である	28.0%	44.9%	19.3%	3.6%	0.9%	3.3%
(8) 地域づくりには、障害の有無に関わらず、女性も男性も、高齢者も若者も、すべての地域住民と多様な主体が参画し、つながりながら取り組むことが重要である	38.7%	43.4%	12.5%	2.1%	0.4%	2.9%

*DV (ドメスティック・バイオレンス)

配偶者や恋人等親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力。身体的な暴力だけでなく、精神的、経済的、性的な暴力等あらゆる暴力が含まれる。

最後に府中市の福祉施策についておたずねします

問28 あなたが現在、お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。(1)～(10)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	無回答	
(N=1,380)						
(1) 近隣などとのつきあい	14.6%	41.7%	35.8%	4.1%	1.4%	2.4%
(2) 地域の交流	8.2%	29.9%	50.9%	5.7%	1.8%	3.5%
(3) 自治会・町会等の活動	7.7%	26.2%	53.7%	5.5%	3.6%	3.3%
(4) サークルやボランティアの活動	4.6%	14.5%	68.1%	5.2%	2.9%	4.7%
(5) 地域の防災対策	5.1%	27.0%	51.5%	9.6%	3.0%	3.8%
(6) 保健福祉サービス	5.3%	27.5%	53.8%	6.6%	2.0%	4.8%
(7) 相談できる体制	3.9%	21.1%	59.3%	8.8%	2.5%	4.4%
(8) 買い物などの便利さ	28.0%	43.1%	11.9%	9.3%	4.7%	3.0%
(9) 道路や交通機関等の使いやすさ	22.4%	45.8%	15.9%	8.8%	4.3%	2.8%
(10) 公的な手続きの便利さ	9.8%	39.1%	34.7%	10.2%	3.3%	2.9%

問29 府中市ではどのような福祉施策に優先して取り組むべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをお答えください。(5つまで○)
(N=1,380)

1. 相談支援体制や情報提供体制の充実	40.7%
2. 権利擁護・虐待防止の推進	17.0%
3. 日ごろから防災・防犯を意識した地域づくりの推進	55.9%
4. 経済的に困っている人の自立に向けた支援	19.3%
5. 事業者への運営指導等による福祉サービスの質の確保に向けた取組	9.7%
6. 健康づくり・介護予防の推進	39.8%
7. 地域住民同士の助け合いや支え合いの促進	22.8%
8. 地域活動団体、ボランティア団体、NPO団体等の育成・支援	13.2%
9. 市民・関連団体・行政の連携と協働	11.5%
10. 互いに理解し助け合う福祉意識の醸成	21.9%
11. 市民の誰もが社会活動等へ参加・参画するための支援	17.1%
12. 公共施設やインフラ等のバリアフリー化やユニバーサルデザインの推進	33.3%
13. その他〔具体的に：	〕 2.7%
14. 分からない	6.6%
無回答	4.0%

問30 府中市の地域福祉及び福祉のまちづくりへのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——